

人口増加対策と学区の再編

津山新星会議 小 椋 多



質問 ↓津山市初の結婚支援事業の成果は。今後どのように取り組むのか。

答弁 ↓募集定員を上回り、高い需要があった。セミナーや交流会を行い、当日5組のカップルが誕生した。継続的

な取り組みとしてほしいとの意見もあり、一定の成果があった。広域事務組合で婚活事業を継続するよう提案する準備を進めている。定住促進につながるため、市としても継続的に取り組むことが有効であると認識している。

質問 ↓基本方針に則り、阿波小学校の統合の意向が示されたが、市内の学区の見直しをすべき時期にきているのでは。

答弁 ↓各校の状況や既存施設の活用、市全体のバランス、地域の歴史等を考慮しながら、子ども達を中心に考え地域との連携を進めながら対応を図っていききたい。

天守閣、城壁、城下整備の3点セットを復元し観光資源に!

新政クラブ 津本憲一



質問 ↓今年5月に広島大学大学院の三浦正幸教授が津山青年会議所55周年記念講演で、この3点セットが現存するならば姫路城ではなく津山城が世界遺産になっていたと絶賛を博さ

れた。ならば、3点セットを復元し、観光資源にしては。

市長 ↓復元されれば全国に誇れ観光に効果が表れる。しかし、壮大な計画のため事業化は困難である。

質問 ↓米沢市では中国のレノボと日本電気の提携を行っている。中国のレノボと韓国のサムスンの両社に土地を無償提供し、企業誘致による自主財源を確保してはどうか。

市長 ↓既存立地企業とのバランス、土地代の助成など市への経済効果を重視し、段階的に設定。現在の方譲価格は妥当。土地の無償提供は難しい。

将来の農業を話し合う「人・農地プラン」

津山誠心会議 安東伸昭



質問 ↓「人・農地プラン作成」の工程、プラン作成によるメリット・デメリット、津山市の農業の将来像について見解は。

答弁 ↓現在、地域説明会の開催に向けて準備を進めている。7月末から8月にかけて、津山市を10の区画(農協支店単位)ただし、勝北は3区画)に分けて、経営体の確保や農地の集積方法について話し合う。9月下旬には、地域の話し合いの結果を踏まえ、原案をまとめて11月に検討会を開催して、審査決定する。農家は集積の協力により1戸あたり30〜70万円の交付を受けられる。一方、自家消費する野菜や米は生産できるが、販売を行うことができない。効率的な農地利用と低コスト経営の農業を目指す。

地域防災計画の見直しと進捗状況は

公明党津山市議員 岡安謙典



質問 ↓地域防災計画の見直し内容と進捗状況は。

答弁 ↓主な見直し内容は、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方、「地震の揺れ」に対する対策の充実・

強化、自主防犯組織の育成と消防団の活性化、防災教育の推進、男女協働参画、子ども・子育て家庭への配慮などの多岐にわたる。7月初旬に開催の津山防災会議に諮り決定していく。

質問 ↓災害時の情報伝達手段としてのFMラジオの導入は。

答弁 ↓FMラジオの導入は可能性や内容の検討と合わせて、FM事業者の状況を勘案し、可能な限り早急に結論を出していく。

質問 ↓防災士取得の助成を。

答弁 ↓県補助事業の活用を検討する。